

学会だより

集会の案内

◇ 19th EUCARPIA General Congress のご案内

The preliminary programme is available.

19th EUCARPIA General Congress Budapest, Hungary, May 21–24, 2012.

On behalf of EUCARPIA, the European Association for Research on Plant Breeding, the Conference Organizing Committee extends a warm invitation to plant breeders, plant scientists and other agricultural specialists to attend the 19th EUCARPIA General Congress in Budapest.

The conference will be held in the historical building of the Hungarian Academy of Sciences, situated in the centre of the city, on the Pest side of the river Danube by the Chain Bridge. The Scientific Committee has selected the submitted abstracts for oral presentations. The preliminary programme and detailed information are now available on the EUCARPIA (<http://www.mgki.hu/index.php?conference=30&lang=en>) Congress Homepage

Deadline for early fee registration: March 15th!

研究助成公募の案内

◇ バイオインダストリー協会賞・発酵と代謝研究奨励金・化学素材研究開発振興財団記念基金「グラント」研究奨励金の候補者募集のお知らせ

一般財団法人バイオインダストリー協会（JBA）より、「バイオインダストリー協会賞」・「発酵と代謝研究奨励金」・「化学素材研究開発振興財団記念基金「グラント」研究奨励金」の公募についての案内がありました。募集の概要は、同協会ホームページ（<http://www.jba.or.jp/>）でご確認ください。

◇ CREST・さきがけ「二酸化炭素資源化を旨とした植物の物質生産力強化と生産物活用のための基盤技術の創出」研究領域の平成24年度研究提案募集（予告）のお知らせ

科学技術振興機構（JST）より、CREST・さきがけ「二酸化炭素資源化を旨とした植物の物質生産力強化と生産物活用のための基盤技術の創出」研究領域の平成24年度研究提案公募についての案内（予告）がありました。募集の概要は、研究領域ホームページ（<http://www.plantsci.jst.go.jp/>）でご確認ください。

●研究総括：磯貝彰（奈良先端科学技術大学院大学 学長）

●募集の対象となる研究分野：

- ・ 光合成制御機構の統合的理解と光合成能力向上
- ・ 環境適応機構の解明に基づく光合成能力向上や炭素貯留能向上及び有用バイオマス産生
- ・ バイオマス生合成・分解機構の理解とその活用技術

談話会だより

◇ 北海道地区

下記の日本育種学会・日本作物学会 北海道談話会の年次講演会ならびに総会を開催した。

平成23年度 日本育種学会・日本作物学会 北海道談話会 一般講演会

日時：平成23年12月3日（土）10：00～17：00

場所：北海道大学農学部本館（N11, N21, N31 室）

演題（54 演題）：前年秋に播種したシロクローバとライムギのリビングマルチがトウモロコシの生育と雑草防除に及ぼす影響 ○金子悠子¹・阿部沙織²・市川伸次³・実山豊¹・岩間和人¹（1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大北方生物圏フィールド科学センター）／ホウレンソウ間性遺伝子に連鎖する AFLP および BAC 由来 SCAR マーカーのマッピング ○織田祐二・山本和輝・小野寺康之・三上哲夫（北大院農）／ダイズのレトロトランスポゾン *SORE-1* の組織特異的プロモーター活性 ○土屋真弓・阿部純・金澤章（北大院農）／分枝特性における日米ダイズ品種間の比較一節間長の密度反応一 ○阿古達木¹・義平大樹¹・小阪進一¹・白岩立彦²（1. 酪農学園大, 2. 京大院農）／アメリカ中北部コーンベルトの農業とダイズ育種 大西志全（道総研中央農試）／越冬ライムギをカバー作物に使用した大豆不耕起栽培における施肥法の効果 石川枝津子（北海道農業研究センター）／2010年の高温下で登熟したアズキ種子に行った各処理が発芽率に及ぼす効果 ○田澤暁子・佐藤仁（道総研十勝農試）／コムギの耐凍性に関わる低温及びABA応答による代謝物変動の解析 下坂悦生（北海道農業研究センター）／コムギ種子休眠性 QTL, *QPhs.ocs-3A.1* の精密マッピング ○堀川拓矢¹・大西一光¹・加藤緑¹・小池倫也²・梶田淳史²・加藤清明¹・三浦秀穂¹（1. 帯広畜大, 2. ホクレン農総研）／異なる種子休眠性 QTL をもつ白粒コムギの発芽温度反応 ○横石智彦・大西一光・三浦秀穂（帯広畜大）／強力粉、薄力粉適性をもつ強種子休眠性白粒コムギの選抜 ○山本淳生¹・大西一光¹・田引正²・伊藤美環子²・西尾善太²・長澤幸一²・三浦秀穂¹（1. 帯広畜大, 2. 北海道農業研究センター）／スペルタコムギを利用した競争力における遺伝変異の探索 ○林和希・加

古貴将・木下郁香・小野真矢・三浦秀穂・大西一光（帯広畜大）／緩効性肥料を用いたパン用小麦品種「ゆめちから」の収量と子実タンパク含有量 ○中司啓二・西尾善太・石田茂樹・横田聡（北海道農業センター）／夏季の高温による北海道産小麦の減収要因の解析 ○西尾善太・伊藤美環子・田引正・中司啓二・長澤幸一・山内宏昭・広田知良（北海道農業研究センター）／パン用小麦品種「ゆめちから」におけるデジタル画像を用いた簡易な推定植率と生育の関係 ○石田茂樹・中司啓二・西尾善太（北海道農業研究センター）／マイクロ SDS セディメンテーションテストを利用した薄力用コムギ系統の効率的選抜 ○吉村康弘¹・西村努²・小林聡¹・柳沢朗²（1. 道総研北見農試, 2. 道総研中央農試）／秋まき小麦「きたほなみ」の製品歩留まり低下要因 ○沢口敦史・上堀孝之・竹内徹・高橋義雄（道総研北見農試）／秋播きコムギにおける F2 世代穂発芽性選抜時の低温処理の効果 ○佐藤三佳子¹・西村努²・吉村康弘¹（1. 道総研北見農試, 2. 道総研中央農試）／秋まき小麦の近年の収量変動—北見農試作況の考察— ○神野裕信・吉村康弘・小林聡・佐藤三佳子（道総研北見農試）／パスタ用コムギ品種「北海 259 号」の収量・子実タンパク質含有率に及ぼす窒素施肥量および施肥時期の影響 ○義平大樹¹・牛木純²・池野誠一郎¹・杉山由史¹・山口龍士¹・筒井静子¹・小阪進一¹・辻博之²（1. 酪農学園大, 2. 北海道農業研究センター）／イネにおいて発現する反復配列の検出と組織間での差異 ○小笠原慧・石黒聖也・江澤光江・貴島祐治（北大農）／アスコルビン酸をリサイクルする酵素遺伝子を過発現させた遺伝子組換えイネの低温耐性について 保田浩（北海道農業研究センター）／植物種間競争における河野仮説の再検証—イネの生育期間の競争能力に対するその重要性— ○伊藤勇樹¹・長野宏則²・清水博之¹（1. 北海道農業研究センター, 2. 北大北方生物圏フィールド科学センター）／米のアルカリ溶液処理により加工適性の高い米粉を製造できる ○船附稚子¹・野田高弘¹・長澤幸一¹・西尾善太¹・松葉修一¹・梅本貴之¹・清水博之¹・池ヶ谷智仁¹・横上晴郁¹・黒木慎¹・山本嘉彦²・松原弘之²・山本マサヒコ³・山内宏昭¹（1. 北海道農業研究センター, 2. 江別製粉, 3. 山本忠信商店）／イネ圃場苗立ち性遺伝子 *qSES11* の候補領域の絞込み ○岩田夏子¹・品田博史²・佐藤毅²（1. ホクレン農総研, 2. 道総研上川農試）／北海道における外国稲および陸稲由来のもち圃場抵抗性遺伝子の効果 ○品田博史¹・木口忠彦²・吉村徹¹・前川利彦¹・佐藤毅¹（1. 道総研上川農試, 2. 道総研中央農試）／イネの低アミロース性 QTL である *qAC9.3* と玄米品質の関係 ○木口忠彦¹・品田博史²（1. 道総研中央農試, 2. 道総研上川農試）／「ゆめぴりか」のタンパク質含有率に及ぼす窒素吸収特性の影響 五十嵐俊成（道総研上川農試）／水稻湛水直播栽培における圃場調査法の検討 岡田佳菜子・○精進順輔（拓殖大学北海道短期大）／イネの *rcn1* 変異体にお

る低温伸長性と *RCN1* の発現解析 ○古川薫¹・松田修一¹・小森のぞみ¹・得字圭彦¹・高牟礼逸朗²・加藤清明¹（1. 帯広畜大, 2. 北大院農）／*RCN1/OsABC5* 遺伝子の組織特異的発現がイネの側根の発達に関わる ○松田修一¹・小森のぞみ¹・古川薫¹・得字圭彦¹・高牟礼逸朗²・中園幹生³・加藤清明¹（1. 帯広畜大, 2. 北大院農, 3. 名大院農）／イネの *rcn1* 様少分げつ突然変異体の詳細マッピングと *rcn1* との相互作用 ○船引厚志¹・得字圭彦¹・高牟礼逸朗²・加藤清明¹（1. 帯広畜大, 2. 北大院農）／テンサイ F1 における遺伝距離と収量の関係 ○田口和憲・岡崎和之・黒田洋輔・高橋宙之（北海道農業研究センター）／テンサイ不和合性系統における DNA 多様性の解析 ○岡崎和之・田口和憲・黒田洋輔・高橋宙之（北海道農業研究センター）／春化および日長条件がテンサイの抽苔・開花に及ぼす影響 ○黒田洋輔・田口和憲・岡崎和之・高橋宙之（北海道農業研究センター）／育苗および栽培環境がテンサイの当年抽苔におよぼす影響 ○高橋宙之¹・黒田洋輔¹・千葉健太郎²・大波正寿³・鳥越昌隆⁴・柏木浩二⁵・根津隆次⁵・田口和憲¹・岡崎和之¹（1. 北海道農業研究センター, 2. 網走農業改良普及センター, 3. 道総研北見農試, 4. 道総研十勝農試, 5. 北海道糖業（株））／種子のプライミングが低温化におけるビートの発芽に及ぼす影響 ○鯖戸龍哉・秋本正博（帯広畜大）／キリンソウにおける茎切片からの植物体再生 ○柿下彩夏・我妻尚広・岡本吉弘（酪農学園大院酪農）／北海道浜中町におけるゼンテイカの葉緑体ゲノムの遺伝変異 ○石田光・我妻尚広・岡本吉弘（酪農学園大酪農）／2 倍体バレイショ集団における根長と根乾物重の QTL 解析 岩佐倫希¹・Anithakumari AM²・三浦紗土¹・桑原亘平¹・吉川亜紗子¹・Linden CG²・Visser RGF²・○岩間和人¹（1. 北大院農, 2. ワーゲニンゲン大）／バレイショ C × E マップ集団の根形質におけるポット栽培と圃場栽培の比較 ○桑原亘平¹・岩佐倫希¹・三浦紗土¹・吉川亜紗子¹・高橋陽平²・市川伸次³・岩間和人¹（1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大北方生物圏フィールド科学センター）／バレイショ C × E マップ集団における農業特性の評価 ○吉川亜紗子¹・岩佐倫希¹・三浦紗土¹・桑原亘平¹・高橋陽平²・市川伸次³・Visser RGF⁴・岩間和人¹（1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大北方生物圏フィールド科学センター, 4. ワーゲニンゲン大）／根量の異なるバレイショ品種における植物の通導コンダクタンスの評価 ○松本学¹・出口哲久¹・伊藤瑛悟¹・納谷拓実¹・古川恵¹・小林司²・市川伸次³・河合孝雄²・岩間和人¹（1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大北方生物圏フィールド科学センター）／根量の異なるバレイショ 2 品種における群落構造および光利用効率と塊茎の早期肥大性との関係 ○納谷拓実¹・出口哲久¹・伊藤瑛悟¹・古川恵¹・松本学¹・小林司²・市川伸次³・河合孝雄³・岩間和人¹（1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大北方生物圏フィールド科学センター）／根量の異なるバレイショ品種にお

る吸水特性の年次間比較 ○古川恵¹・出口哲久¹・伊藤瑛悟¹・納谷拓実¹・松本学¹・小林司²・市川伸次³・河合孝雄³・岩間和人¹ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大北方生物圏フィールド科学センター) / 根量の異なるバレイショ 4 品種の根系分布におよぼす気象条件および土壌水分条件の影響 ○出口哲久¹・ワンチュック P¹・田子旭彦¹・三浦由美子¹・伊藤瑛悟¹・納谷拓実¹・古川恵¹・松本学¹・小林司²・河合孝雄³・市川伸次³・岩間和人¹ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大北方生物圏フィールド科学センター) / バレイショの植え付け向きによる収量の違いについて ○和田友則・柴田洋一 (北大院農) / ジャガイモ早期培土と播種深度のストロン生長への影響 ○岡田昌宏¹・津田昌吾²・森元幸²・三浦秀穂¹ (1. 帯広畜大, 2. 北海道農業研究センター) / バレイショの養液土耕におけるミニチューバーの収穫後の減耗防止方法 ○不破秀明¹・岩間和人² (1. 種苗管理センター北海道中央農場, 2. 北大院農) / ジベレリン処理によるバレイショ収量への効果 ○今村講平・鶴谷敏広・郷家一宏・佐藤満福 (種苗管理センター北海道中央農場) / バレイショにおけるジベレリン処理の塊茎数への影響 ○津田昌吾・岡田昌宏・田宮誠司・西中未央・浅野賢治 (北海道農業研究センター) / DNA マーカーを用いた未侵入ジャガイモシストセンチュウに対する抵抗性遺伝子の探索 ○浅野賢治・西中未央・田宮誠司 (北海道農業研究センター) / アカクローバ鋤き込みによる後作ソバの生育特性と倒伏軽減に関する検討 ○西村努¹・神野裕信²・藤田正平¹ (1. 道総研中央農試, 2. 道総研北見農試) / 東北海道におけるギョウジャニンニクの栽培化について一開花期における葉の特性一 ○田丸典彦¹・木村浩子² (1. 釧路野外教育研究会, 2. 釧路市立青葉小学校) 金澤章 (北海道大学大学院農学研究院)

◇ 中国地区

中国地域育種談話会

第3回中国地域育種談話会が、2011年12月17日(土)に山口県美祢市の秋吉台家族旅行村で開催された。特別講演3題および一般講演発表6題の発表が行われ、中国地域3県の大学・研究機関から29名が参加し、活発な議論が交わされた。またオプションとして家族旅行村に宿泊する研究交流と、翌日18日(日)には希望者のみ秋吉台の自然観察が行われた。

特別講演：(1) 毒抜き法から見たアフリカのキャッサバ栽培の拡散ルート。安溪貴子 (山口大学医学部)、(2) アワの系統分化：研究の現状と展望。福永健二 (県立広島大学生命環境学部)、(3) 麦作農業の原風景：現代西アジアの風景と古代農業。丹野研一 (山口大学農学部)

一般講演：(1) トランスポゾンディスプレイ (TD) および SSR マーカーによるアワ連鎖地図の作成と形態形成

遺伝子 *stb1* のマッピング。佐藤圭¹・内藤健²・福永健二¹ (1. 県立広島大学生命環境学部, 2. 農業生物資源ジーンバンク)、(2) イネ *stay-green* 突然変異体 *nyc4* の分子遺伝学的解析 (Genetic analysis of the rice *stay-green* mutant *nyc4*)。山谷浩史¹・佐藤豊²・西村実³・草場信¹ (1. 広島大院理, 2. 生物研, 3. 生物研放育場)、(3) オオムギ属における種子の硬軟質性に関する遺伝子の系統解析。寺沢洋平・S.M Rahman・高田兼則・池田達哉 (近中四農研)、(4) 山口県における掛米用多収品種「やまだわら」の選定とその特性。羽嶋正恭・渡辺大輔・中司祐典 (山口県農林総合技術センター)、(5) エンマーコムギ遺伝資源の出穂・登熟期および耐湿性調査。鴨川瞳¹・今浦弘貴¹・永田大翔¹・池田あゆみ¹・荒木英樹¹・高橋肇¹・河原太八²・丹野研一¹ (1. 山口大学農学部, 2. 京都大学農学研究科)、(6) ハサンケイフ・ホユック遺跡 (トルコ東部) における新石器時代初頭の定住化に関する考古植物調査。楨亮一¹・丹野研一¹・前田修²・三宅裕² (1. 山口大学農学部, 2. 筑波大学歴史人類)

丹野研一 (山口大学農学部)

日本育種学会会員異動 (2011.10.21 ~ 2012.01.20)

◇ 普通会員入会：池ヶ谷智仁, 来嶋正朋, 藤田涼平 (北海道), 宇津志博恵, 西原昌宏 (岩手), 酒井球絵 (宮城), SOLOVIEVA ELENA, 加藤珠理, 福田篤徳, 藤田敏郎, 三浦真弘 (茨城), 小暮祥子 (埼玉), 五十嵐香理 (神奈川), 小木芳恵, 酒井究, 田野井真, 渡辺和夫 (福井), 小松康彦, 西村哲 (愛知), 林慎悟 (岡山), 吉田桂一郎 (佐賀), 安部良樹 (大分), 竹之下佳久 (鹿児島), 首藤亜耶乃, 太郎良和彦 (沖縄)

◇ 学生会員入会：勝山嵩也 (北海道), 儀間康造, 櫛引はるか, 佐野麻衣子, 外和昌大, 高橋育弥, 松澤めぐみ (青森), 山崎美幸 (岩手), 中神毅 (秋田), 大竹利奈, 高橋由希子, 滝澤虎三郎, 兵庫大樹 (山形), 佐藤大輔, 杉村元, 鳥塚悠太, 渡邊美香 (東京), 富田寛也 (新潟), 田中紘子, 山田真希 (福井), 大橋里美, ORODONIO REYNANTE, 近藤治樹, 武田泰実, 藤城靖子, 榊井沙紀, 矢野憲司, 渡邊宏太郎 (愛知), 松田智貴 (三重), 豊永久美子 (滋賀), 新見友季子, 松田龍典 (兵庫), 関根大輔 (奈良), 趙晟佑 (鳥取), GICHUHI EMILY, 金古卓磨 (岡山), 山谷浩史 (広島), HLAING MOEMOE (福岡)

住所変更等

◇ 普通会員：藤野賢治 (北海道), 熊谷亨, 栗原宏幸, 呉健忠, 春原嘉弘, 樋山肇 (茨城), 小川洋一 (千葉), 荒井輝博 (岐阜), 久富 (定塚) 恵世 (静岡), 高橋宏和 (愛知), 藤岡智明 (三重)

◇ 学生会員：本多剛志 (茨城)